

内より二十日更中なる人所きり一人従目
付二人足怪る五十人指動れし意の値とを
当所より五里程下に岩館といふ所あり出
羽陸奥の境ありて両方より役人を至り陸
奥の方此役所いふ大岩城といふ所あり

一大破

平地なり比内川の西之^{古代の}一万余石
佐竹常刀破領之古伝此北破と稱するは
是なりけし西に出羽と陸奥との境に津怪
は屬する村を矢立碓といふ

一十二所

一万余石秋田破家士白川に接し領之足怪百
二十人此所し意の値とをけし西より南郡
境石根場下と七里

一橋ふ

^{大破と十二里ツル方}
^{荷上場大破長坂十五文} 饅子 船と一里

古代の館を姓名未考史記郡の下に記し
傳り来次氏より小外川(巻)されり書
面は橋ふとあり是なり一万余石南河
佐竹破家士多賀谷所監及領之隣は橋ふ
あり十二里あり能代(ハ)を今民